

七治里 chi-chi-ri

里で暮らすという、おくすり。

肘折温泉

ACCESS

東京 (JAL/2往復)	約65分	山形空港
伊丹 (JAL/3往復)	約80分	肘折温泉
名古屋小牧 (FDA/往復) *JALコードシェア便	約65分	観光ライナー

* 観光ライナーは予約制です。宿泊ご予約の際、お申し込みください。

大蔵村観光協会

0233-75-2111
〒996-0212
山形県最上郡大蔵村大字清水 2528

the most beautiful villages in Japan
大蔵村

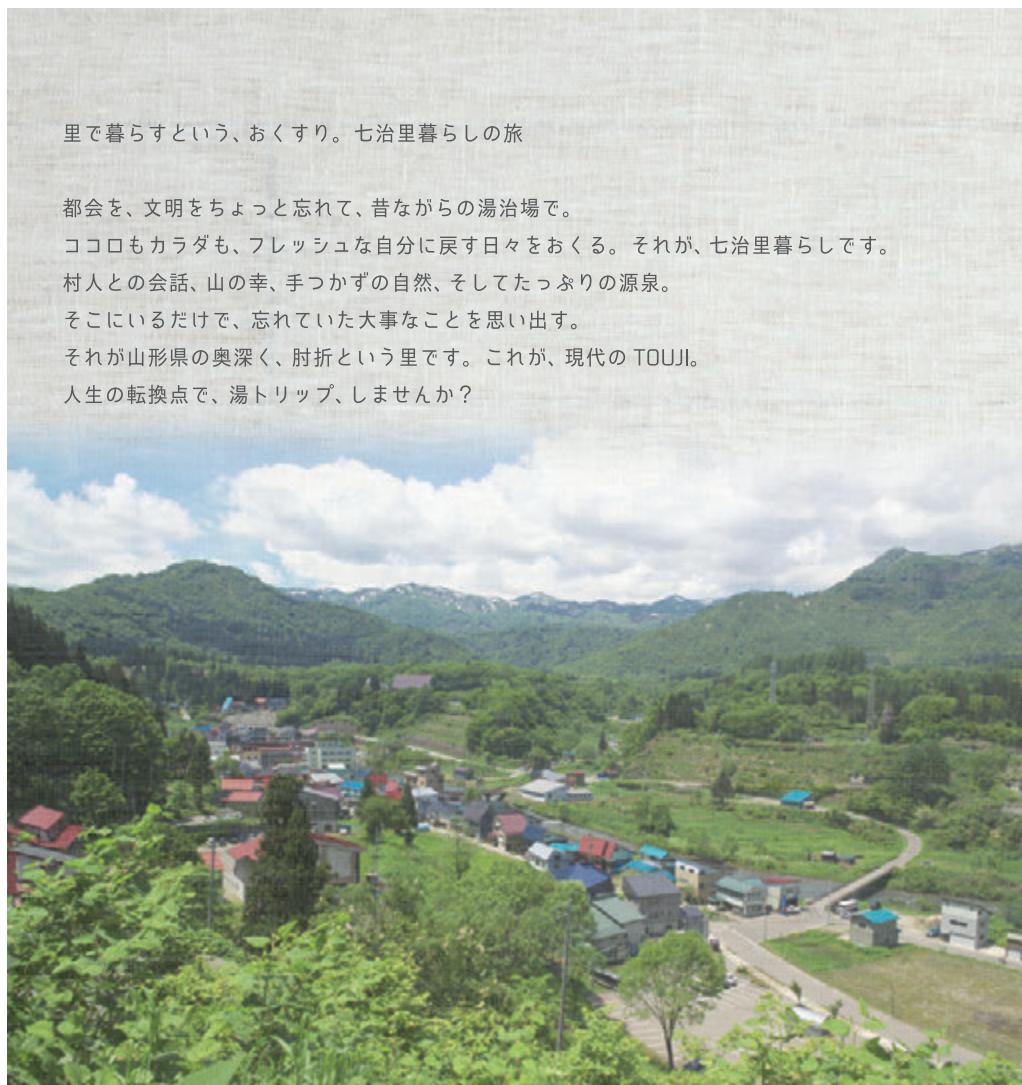
肘折温泉観光案内所

0233-76-2211
〒996-0301
山形県最上郡大蔵村大字南山 451-2

「七治里暮らし」の旅館プラン、
体験プログラムはこちらから↓

<http://hijiori.jp/>

ひじおりおんせん 検索



里で暮らすという、おくすり。七治里暮らしの旅

都会を、文明をちょっと忘れて、昔ながらの湯治場で。
ココロもカラダも、フレッシュな自分に戻す日々をおくる。それが、七治里暮らしです。
村人との会話、山の幸、手つかずの自然、そしてたっぷりの源泉。
そこにいるだけで、忘れていた大事なことを思い出す。
それが山形県の奥深く、肘折という里です。これが、現代の TOUJI。
人生の転換点で、湯トリップ、しませんか？



1. 「湯」 昔、老僧の骨折した肘を治したという温泉。
その深きお湯で、カラダのすみずみまで整え治す。
2. 「山」 山々と渓谷。手つかずの自然が、ココロを治し五感が甦る。
3. 「光」 日の光と月の光。人生はゆっくりと動くことを体感する。
4. 「恵」 都会では味わえない山の恵み。本来の味覚を愉しむ。
5. 「里」 はじめて会った人にも暖かな村人。その日から、ここはふる里になる。
6. 「力」 水と空気と大地。人間の力は、ここから育まれることを知る。
7. 「源」 都会や文明から離れることで、大事なことを思い出す。

ほんとうの自分にかえる
七つの「治」とは。

Day 1

肘折温泉
“七治里暮らし”日記
(春のとある7日間)

※7日間は滞在方法の一例であり、滞在日数に合わせてお楽しみいただけます。

1日目：温泉の先生に会う

人生に溜まったものを振り落としに、
ロングステイの旅。
山形空港から送迎バスに乗って、
あっという間に肘折温泉到着。
そこは、時間が止まったような温泉街だ。
人触りのする部屋に案内されると、
手書きの手紙がお出迎え。うれしい予感がする。
ここでは、タオルではなく手ぬぐい。
七治里のロゴがかわいらしい！
一息ついで、正しい温泉の入り方を聞きに。
『スパリエ』という温泉の先生が言うには、
1日目は2回、2日目以降は3回まで。
治りそうな気がしてきたぞ。
日安は7日間。
期待ふくらむ七治里暮らし始まった。

Day 2

2日目：予定のないふらり散歩

にぎやかな話し声で目が醒めた。温泉街の通りでやっている朝市らしい。
まずは、内湯に浸かり、その足で出かけてみることにした。
細い道の脇にひしめくように、肘折のお母さんたちの市。
山菜、野菜、お惣菜などがとても新鮮に映る。
元気に声をかけてくれたので思わず、話し込んでしまった。
朝から動くのは気持ちがいいな。
ランチは名物のおそば。その後は、旅館街の後ろ手にある川のほとりを、
ふらりお散歩。昔ながらのものがそこら中にあって、目が喜んでる。
何もしないのは、ほんと楽しい。肩のチカラがドンドンぬけていく。